



広島報

～わたしたちが創る～希望と活力あふれる 十和田

とわた

三本木中

No. 181

2017

11

目次

Camera Report

あおもり10市大祭典in十和田

.....1

平成29年度市民特別栄誉賞・十和田市褒賞・

十和田市文化に関する表彰

.....6

熱い魂集結 あおもり10市大祭典in十和田

(9月23日、24日／官庁街通り周辺)

「祭り」はアートだ！体感！咲き乱れる10市の華」と題し、県内10市の祭りが開催されて大盛況となった「あおもり10市大祭典in十和田」が、2日間の日程を成功裡に終え、来年の開催地青森市へバトンを渡しました。
(写真はパレードで披露された三本木小唄流しおどり)

十和田市秋まつり山車
(若葉地区四町内会祭典委員会)



青森ねぶた祭



集結

十和田市秋まつり太鼓車 (中央町内会)



八戸三社大祭

祭典in十和田



黒石よされ



おしまこ流し踊り (むつ市)



三本木小唄流しおどり

青森県内10市の祭りや伝統芸能、食の魅力を一堂に集めた「あおもり10市大祭典in十和田」（主催・県都市共同観光振興特別事業実行委員会）が9月23日、24日に本市で開催され、19万人の人数（主催者発表）を記録しました。

メインイベントの官庁街通りで行われたパレードでは、各市の山車や流し踊りが練り歩き、沿道の観客を大いに魅了しました。10市大祭典は、東日本大震災からの復興PR、本県の観光振興を目的に2012年から10市持ち回りで実施し、来年は青森市で開催します。

けんらん 豪華絢爛 熱い魂



五所川原立佞武多



弘前ねぶたまつり

あおもり10市大



平川ねぶたまつり



つがる市馬ねぶたパレード



アメリカンパレード（三沢市）



『馬花道よさこい』がステージいっぱいに踊りました

「づくりにまい進みます」



十和田ブランドフェアで
本市自慢の野菜を販売しました



「B-1 グランプリ日本一の十和田バラ
焼きゼミナールが作るバラ焼きを、召
し上がってください」とPR



五所川原市の十三湖しじみすくい取り
に、大喜びです



10市の市長たちも馬に乗って登場し、
「あおもり10市大祭典in十和田」が開幕しました



スピードと迫力ある流鏝馬のデモンスト
レーションは、来場者に感動を与えました



「十和田湖ひめますを食べてみてください。とても
おいしいですよ」と十和田ブランドフェアでPR



青森市のミスねぶたもお祝いにかけつけました



弘前城ミスも弘前ねぶたとともに応援です

「10市が連携してまち



「ごみいただきます」と、おもてなし隊が会場のごみ拾いに大活躍でした



馬のまち十和田市にちなんで、小山田久市長が馬に乗って登場しました



各市のゆるキャラが大集合して、来場者を喜ばせました



開会式典では、各市の市長や副市長が馬に乗って登場。県市長会の小野寺晃彦会長（青森市長）は「大祭典を大きく成長させていきたい」と主催者を代表してあいさつしました。

9月23日のパレードは午後6時ごろスタート（2、3ページ）。馬ねぶた（つがる市）を先頭に、各市のお祭りが続き、ライトアップされた山車が闇夜を鮮やかに彩り、八戸三社大祭や五所川原立佞武多、青森ねぶた祭のハネトの躍動的な乱舞、威勢よく響き渡る祭り囃子などが、沿道に詰めかけた観客の目の前で繰り広げられ、観客は多彩な祭りの魅力をたっぷり堪能しました。

最後尾には、テンポの良い本市の三本木小唄流しおどりが続き、会場を熱気に包みこみました。

イベント会場の中央駐車場のステージエリアやブランドフェア、お祭りパレードでは、B-1グランプリで誕生した三本木中生徒の「おもてなし隊」や、県立西高生徒、市民ボランティアが活躍。フィナーレでは小山田久市長が「温かい元気なおもてなしが来場者の胸に深く刻まれた」と感謝の言葉を述べたあと、「10市の思いを当市で発信させていただき光栄です。今後も10市が連携して元気なまちづくりにまい進したい」とあいさつし、閉幕しました。

平成29年度 市民特別荣誉賞

十和田市褒賞受賞（平成5年）後も活躍が顕著である方をたたえるものです。

十和田市民の誇り～歌手生活80周年～

80年の永きにわたり、国民に親しまれる歌手としての活躍は十和田市民の誇りである。

特に、平成19年から本市で開催されている「月がとっても青いから全国カラオケコンクール」へ特別審査員として毎年出演し、県内外から多くの出場者を集め、本市を全国へ発信している。また平成28年、故郷の流し踊りとして愛されている「三本木小唄」を新たに収録したアルバムを全国発売、あおもり10市大祭典や十和田市秋まつりの活性化につながった。さらには自らも祭りのパレードへ参加するなど、市民に希望と感動を与え、本市の名を広く知らしめた功績は極めて顕著である。

プロフィール

- 昭和26年 「第1回NHK紅白歌合戦」トップバッターで出場
- 昭和30年 「月がとっても青いから」大ヒット
- 昭和62年 「日本レコード大賞・特別功労賞」受賞
- 平成3年 十和田市文化賞受賞
- 平成25年 十和田奥入瀬観光大使就任
- 平成29年 「あおもり10市大祭典in十和田」パレード参加



ながまつ つづこ
永松 都々子さん
(芸名 すがわら つづこ
菅原 都々子)

(90歳・神奈川県相模原市)

〔十和田市出身〕

平成29年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があった方や、広く市民の模範となる方をたたえるものです。

商工業・観光の振興発展に貢献

平成3年から十和田商工会議所常議員に就任以来、平成12年から5年余りにわたり同所副会頭、平成18年から現在まで11年余りにわたり会頭を務めるなど、県内外の経済情勢が厳しい中であって、小規模事業者の経営改善対策や若年者雇用、定年延長などの雇用対策のほか、プレミアム商品券発行事業や空き店舗対策事業などに積極的に取り組み、地域経済の活性化を図るなど本市商工業の振興発展に大きく貢献した。

また、平成20年、十和田市観光協会会長時に旧十和田湖町の複数の観光協会と十和田市物産協会を統合、現在の十和田市観光協会の発足に力を尽くし、市全体で一体的な観光活動が可能になった功績は誠に顕著である。以降、十和田市秋まつりをはじめとする各種イベントではリーダーシップを発揮し、本市の観光振興やにぎわい創出に大きく寄与している。

【主な受賞歴：平成24年日本商工会議所役員表彰、平成24年十和田商工会議所功績表彰ほか】



いしかわ まさのり
石川 正憲さん

(70歳・西十三番町)

平成29年度十和田市文化に関する表彰

『文化賞』は、文化の向上発展に特に顕著な業績を示し十和田市の誇りに値すると認められた方、『文化功労賞』は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方、『文化奨励賞』は、優れた文化の創造および普及活動を続け市民の文化向上に寄与した方に贈られます。

✧文化功労賞



ふるだて ちよし
古館 千代志さん
(89歳・西十四番町)

長きにわたり、十和田短歌会役員、短歌の全国結社まひる野の支部長を務め、短歌の普及に尽力している。
また、短歌大会・歌壇の選者を務め、「曲水の宴」に東北より6人の参宴歌人のひとりとして選ばれるなど短歌文化の向上、発展に大きく貢献した。
(活動歴32年)

✧文化功労賞



みやうち たかみ
宮内 香宝さん
(64歳・東四番町)

高清水小学校での俳句学習会等、長きにわたり児童生徒の俳句指導を行い、多数の方を全国的な大会で入賞させている。その指導力が高く評価され、指導者としての受賞を数多く重ねており、俳句文化の向上、発展に大きく貢献した。
(活動歴30年)

✧文化賞



たきさわ てつお
滝沢 哲雄さん
(80歳・西四番町)

日本美術家連盟会員、現代美術家協会北海道支部長として活躍しており、これまでに「現展」をはじめとする国内の数多くの絵画展において、優秀な成績を収めている。
また、「現展」審査員をはじめ、絵画指導にも尽力されており、本市における絵画文化の普及、発展に多大な貢献をした。
(活動歴50年)

✧文化奨励賞



かわむら ゆきえ
川村 幸恵さん
(45歳・東三番町)

日本習字教育財団主催の観梅展において最高位の観梅大賞に次ぐ観梅賞を受賞するなど多くの入賞を重ねており、今後のさらなる活躍が期待される。
(活動歴15年)

✧文化功労賞



みずの しげひろ
水野 成弘さん
(水野成弘)
(77歳・相坂字高清水)

長きにわたり、十和田かばちえっば川柳吟社の副会長、事務局として川柳の普及に尽力している。
官庁街通りの野外文芸館の作品責任者として活躍するなど川柳文化の向上、発展に大きく貢献した。
(活動歴34年)

✧文化功労賞



しもだ きよこ
下田 キヨさん
(芳秋庵宗清)
(90歳・西十三番町)

長きにわたり、十和田市茶道協会の副会長、監事として茶道の普及に尽力し、自身も市民茶会の掛け釜を担当するなど茶道文化の向上、発展に大きく貢献した。
(活動歴47年)

✧文化功労賞



おおかわ のりこ
大川 典子さん
(70歳・西十三番町)

長きにわたり、十和田市少年少女合唱団やコーラアゼリアなどの合唱団の指導者を務め、市民文化祭、合唱祭等においても中心的な役割を担い、合唱文化の向上、発展に大きく貢献した。
(活動歴40年)

いいひいいひ

11月11日は、介護の日

申問 高齢介護課高齢者支援係 ☎⑤16720
地域包括支援センター ☎⑦03671

厚生労働省は、介護について理解と認識を深め、介護サービス利用者
と家族・介護従事者を支援し、地域社会における支え合いや交流を促進
する日として「11月11日」を「介護の日」と定めています。

高齢化などにより介護が必要な人々が増加している一方、介護にまつ
わる課題は多様化しています。

今、介護をしていない人も、いつか家族の介護をする立場になったり、
介護を受ける立場になったりするかもしれません。この機会にそれぞれの
立場で「介護」について考えてみませんか。

<市の高齢者の状況（平成29年9月末現在の十和田市人口 62,372人）>
○65歳以上の高齢者数 19,556人（高齢化率 31.4%）
○要介護・要支援認定者 3,369人（要介護認定率 17.2%）



あなたの体力年齢はどのくらい？ 「自立体力全国検定」で、自分の体力を知ろう！

みなさんは、ちょっとした段差でつまづくなど筋力や体力が落ちたと感じることは
ありませんか。日常生活の中で、自分のことは自分でできる自立体力がどのくらいあ
るのかを知る「自立体力全国検定」を受け、また、自宅でできる簡単な体操を楽しみ
ながら習得し、健康づくりに取り組んでみませんか。

対象 おおむね65歳以上の市民（10人以上のグループなどで申し込んでください。）

とき 日時については要相談 ところ 集会所など（9m×4mの幅のある場所）

活動内容 ①講話②検定実施③簡単トレーニング（全体で60～90分）

費用 無料 申込期限 実施予定日の1カ月以上前の申し込みが必要です。



認知症にお悩みの人は、「認知症初期集中支援チーム」が相談に応じ、安心して 生活できるよう支援を行います。まずはお電話ください。

複数の専門職で構成された「認知症初期集中支援チーム」が、認知症が疑われる人や認知症の人で、医療
や介護を受けていない人などの家庭を訪問し、安心して生活できるよう早期に集中的に支援の体制を整えま
す。認知症に悩んでる本人、家族、かかりつけ医、ケアマネジャー、民生委員などからの
相談を受け付けます。一人で悩まず、まずはお電話でご相談ください。

「認知症初期集中支援チーム」は、認知症のサポート医、医療・福祉・介護の専門
スタッフ（薬剤師、精神保健福祉士、保健師、社会福祉士、作業療法士、介護福祉士、
介護支援専門員など）で構成されています。

話だけでも、
聞いてもら
おうかな



「十和田市いきいき介護支援ボランティア」 説明・研修会参加者募集

申問 十和田市社会福祉協議会 ☎③2992

高齢者自身の介護予防を目的にボランティア活動を支援する事業です。

ボランティア活動に参加し、与えられるポイントを一定以上ためると市の特産品
などと交換ができます。

対象 ボランティア活動に興味のある60歳以上の市民

活動内容 レクリエーションの手伝い、外出・移動などの補助、話し相手など

まずは、研修会を受講しましょう

とき 11月30日(木)午後1時30分～4時30分 ところ 市民交流プラザ「タワーレ」

定員 50人程度 費用 無料 持ち物 筆記用具 申込期限 11月24日(金)



第3次十和田市ごみ減量行動計画を策定しました

策定の趣旨

資源循環型社会※の形成を目指し、更なるごみの減量化・資源化を図るため、これまでの取組結果を踏まえ、具体的な施策や目標値を設定します。

※循環型社会とは … 製品等がごみとなることを抑制し、排出されたごみはできるだけ再使用・再利用する。それでも利用できないものは適正処分をすることにより天然資源の消費抑制、環境への負荷を低減する社会をいいます。

目標

平成27年度実績を基準に、平成29年度から平成31年度までの3年間で達成を目指す、2つの目標を設定します。

1人1日当たりのごみ排出量※1

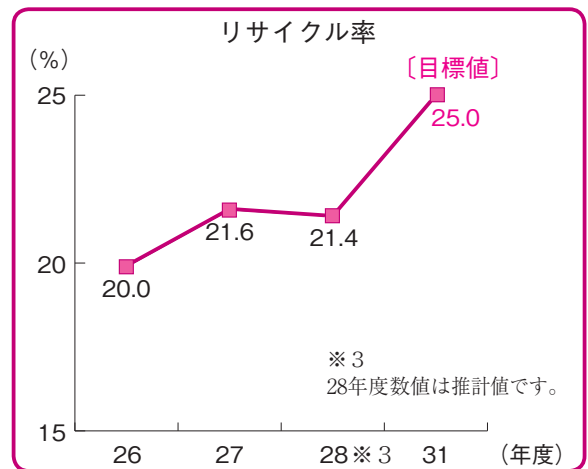
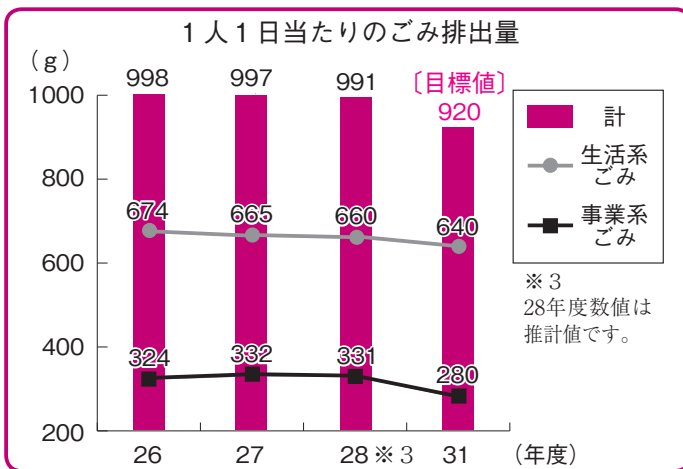
920g以下

※1 ごみ排出量 = ごみ総排出量 ÷ 人 ÷ 365

リサイクル率※2

25%以上

※2 リサイクル率 = 再資源化量 ÷ ごみ総排出量



具体的施策と実践内容

市民・事業者・行政の3者が連携し、3つの実践内容を基に、具体的な取り組みを推進し、継続的に具体的施策の質の向上を目指します。

	市民の取り組み	事業者の取り組み	行政の取り組み
実践内容1 ごみ減量化の推進	<ul style="list-style-type: none"> マイバッグの持参 詰替え商品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の少ない商品の製造 	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ減量 衣類回収 オフィス町内会加入促進
実践内容2 リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> 分別の徹底 資源集団回収や店頭回収の活用 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル製品の販売 オフィス町内会の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 使用済小型家電回収 資源集団回収
実践内容3 3Rに関する意識啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ごみカレンダーの活用 ふるさと出前きらめき講座の活用 	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入の実践 	<ul style="list-style-type: none"> 3Rの取り組み（下記参照）を推進 ごみに関する勉強会の催し

ご家庭ですぐできる3Rの取り組み

- | | |
|---|--|
| <p>R e d u c e (リデュース)
ごみになるものを減らす</p> | <ul style="list-style-type: none"> マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない。 食材を使いきる、料理は食べきる、生ごみは水気をきるの「3つのきる」を実践 |
| <p>R e u s e (リユース)
ものをくりかえし使用する</p> | <ul style="list-style-type: none"> フリーマーケットやリサイクルショップを上手に活用 着なくなった服は、捨てずに衣類回収ボックスへ |
| <p>R e c y c l e (リサイクル)
資源として再び利用する</p> | <ul style="list-style-type: none"> PTA、町内会等で行っている資源集団回収に参加 お買い物のついでにスーパーの店頭回収を活用 使用済小型家電は燃えないごみではなく、小型家電回収ボックスを利用 |

移住フォーラム 第2弾 ～移住女子会 私らしい暮らしを考える～

「アートと自然のまち十和田」で暮らす移住女子たちと一緒に「こんなまちにしたい」を共有しませんか？

人口減少対策の一環として、市では移住・定住の支援に取り組んでいます。

ずっと暮らし続けたいと思えるまちには、移住者の多様な視点が受け入れられることや、気軽に悩みを打ち明け、交流できる場が必要です。

今回の移住フォーラム第2弾では、移住女子と十和田の暮らしの魅力を共有するとともに、参加者同士のネットワークづくりを行います。

とき 12月3日(日) 午後1時～4時30分

ところ 市民交流プラザ「タワーレ」

定員 50人(先着順)(事前申し込みを受け付けます。)

※女性、男性、移住者問わず、どなたでも参加できます。

※子育てママ、パパも大歓迎。お子様連れでも参加できます。

内容 **トークセッション**：全国各地を知る編集女子と移住女子が、十和田の魅力についてトークします。十和田暮らしを満喫するためのヒントを見つけましょう！

交流会：ゲストや参加者と気軽につながりましょう。きっと移住女子との輪が広がるはず！

参加費 無料



十和田 移住 日々コレ [検索](#)

市主催婚活セミナー 「未来デザインセミナー」 開催！

結婚を希望する独身男女のほか、十和田市婚活応援サポーターや十和田市での婚活を応援してくれる人を対象として、ライフデザインを考えるきっかけづくりとなる講演とワークショップを行います。

あなたもこれからの人生のライフデザインを考えてみませんか。

とき 11月25日(土) 午後1時30分～5時※終了後に交流会を行います。

ところ 市民交流プラザ「タワーレ」

対象 ①結婚を希望する独身の人

※女性は、居住地を問いません。

※男性は、上十三・十和田湖広域定住自立圏（十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町、小坂町）に住んでいる人

②十和田市婚活応援サポーター、十和田市での婚活を応援してくれる人

定員 ①、②合わせて30人(先着順)(事前申し込みを受け付けます。)

内容 **講演**：結婚を経て、子育てと仕事を両立し活躍しているフリーアナウンサーの柳澤ふじこさんから、これまでの人生やライフステージ変化時の選択とその理由などについて、講演いただきます。

ワークショップ：今後の社会保障制度を踏まえた参加者それぞれのライフプランニングを行います。

参加費 無料(交流会にも参加する人は500円)

講演
 ノーチャレンジ ノーライフ
NO challenge, NO life
 ～今を楽しむチカラ、
 巻き込むチカラ～

 講師
 フリーアナウンサー
 柳澤ふじこさん

十和田市 婚活支援 [検索](#)

いずれも **申問**政策財政課地方創生・婚活支援係☎⑤6712

またはNPO法人プラットフォームあおもり (☎017-763-5522)

みんなで
出かけよう



上十三・十和田湖広域定住自立圏圏域のイベント情報をお届けします♪

三沢市

みさわ地産地消フェア

9回目の今年度は、ほっき貝の開漁に合わせて三沢漁港で開催します。ほっき貝やイカ、ヒラメ、ごぼう、ながいも、パイカ肉など、三沢市が全国に誇る農水畜産物を使用した料理、各種ステージをご堪能ください。

- ▶とき 12月3日(日)
午前9時30分～午後4時
- ▶ところ 三沢漁港

問三沢市地産販売推進室

☎5111

七戸町

クリスマスパーティ

洋風鍋を囲みながら交流する婚活イベントです(お酒・デザートあり)。詳細は七戸町ホームページをご覧ください。

- ▶とき 12月16日(土) 午後6時30分～
- ▶ところ 七戸町内
- ▶申込期限 12月5日(火)

申問七戸町若者移住促進事業実行委員会(地域おこし総合戦略課内) ☎2422

小坂町

クリスマスマーケットin小坂2017

近代クリスマス発祥地の小坂町でのクリスマスマーケットです。

- ▶とき 12月2日(土)、9日(土)、16日(土)、23日(土)
午後5時～7時30分
- ▶ところ 明治百年通り(天使館周辺)

問小坂町観光産業課観光商工班

☎0186293908

小坂まちづくり株式会社

☎0186292821

おいらせ町

日本一のおいらせ鮭まつり

鮭のつかみ取りやサーモンレース、芸能ステージ、キャラクターショーなど催事も充実しています。

- ▶とき 11月18日(土) 午前9時30分～、19日(日) 午前10時～

▶ところ おいらせ町しもだサーモンパーク(奥入瀬川河川敷)

問おいらせ鮭まつり実行委員会

☎0178664703

おいらせ軽トラ市

野菜や手作り惣菜、工芸品などたくさん出店の軽トラ市です。

- ▶とき 12月3日(日)
午前8時～正午

▶ところ おいらせ町本町商店街

問おいらせ軽トラ市実行委員会

☎0178662511

法律相談

あなたの街の



～第34回～

市民の皆さんの身近な事柄を取り上げ、法律の面から弁護士が解説します。今回は「無保険者の事故に対する政府保障制度」についてです。

問まちづくり支援課 ☎6777

Q 追突事故に遭って怪我をしましたが、加害者は自賠責保険に加入しておらず、支払能力もありません。何か支払いを受けることはできないのでしょうか。

A 政府保障事業と呼ばれる保障制度があり、政府保障事業に対して損害のてん補請求をすることができます。自賠責保険で救済されない被害者を救済するための制度です。

Q 他にも政府保障事業に対して請求できる場合がありますか。

A ひき逃げ事故のような加害車両の保有者が明らかでない場合や、責任保険が締結されている車両を被保険者でない者のみが運行の用に供する場合にも請求することができます。

Q どのような基準で損害額を算定するのでしょうか。

A 平成19年4月1日以降に発生した事故については、自賠責保険と同

じ基準により算定がなされます。

Q 自賠責保険と異なる点はありますか。

A 仮渡金の制度がない、請求できるのは被害者のみで加害者請求ができない、などの点が異なります。

また、健康保険や労災保険などの社会保険からの給付を受けるべき場合には、その金額は差し引かれます。被害者への損害のてん補がなされると、政府が加害者に求償します。

Q 政府保障事業に対して請求することができない場合はありますか。

A 相手方が自衛隊、在日米軍などの車両の場合、強制保険の適用除外者であることから、政府保障事業に対して請求することはできません。このような場合には、本来責任を負う国などに請求することになります。また、事故発生日や症状固定日などから3年を経過して時効が成立しているときも請求することはできません。

Q どこに請求すればよいのでしょうか。

A 政府保障事業は損保各社が政府から事業の一部を受託しているため、最寄りの損保会社窓口で手続きを行うことができます。

(文責・弁護士 橋本 明広)
弁護士法人青空と大地 ☎25162

子どもの笑顔が輝くまちへ

お互い協力し合おう子育てを



十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員によるコーナーです

「ゆっパル」の由来
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。



政府では2020年までに男性の育児休業取得率を13%とする目標を掲げています。しかし、現状は3.16%（厚生労働省「平成28年度雇用均等基本調査」）にとどまっており、育児休業制度を利用する男性はごくわずかな状況です。

育児休業を取得できない理由としては、職場での業務が多忙であること、職場環境や育児休業制度が整備されていないこと、また育児休業は有給休暇ではないため、休業を取得することにより収入が減るなどさまざまです。

今号では、育児休業を取得した市内にお住まいの男性の例を紹介しながら、男女のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について考えてみたいと思います。



Interview



石井昌史さん(42歳)、朋美さん(43歳)、昌太くん(2歳)

2年前に半年間育児休業を取得した、青森県職員の石井昌史さんご一家にお話を伺いました。

Q 育児休業を取得しようと思ったきっかけは？

妻の実家が北海道であり、両親も高齢になってきていて、出産時にこちらまで手伝いに来てもらうことができないので、サポートしてあげたいと思いました。また、当時配属されていた部署が、仕事をお互いカバーできやすい部署だったのと、職場でも男性の育休取得を勧めていた

ためです。

Q 育児休業を取得した際の職場や周りの反応は？

女性も多い職場で、産休・育休取得者も何人かいたため理解がありました。また、当時の男性上司には「育休をとりやすい環境になってきたなあ」と言われました。上司達の時代は、今のように男性が育休を取得することに前向きではなかったようです。私が育休を取得したあとにも、2、3人の男性の後輩が続いて育休を取得しました。

また、自分の実家（五戸町）へも頻繁に顔を出すようになったため、両親も喜んでくれました。

Q 実際、育児休業を取得して一日中家で過ごす感じましたか？

育休を取得した当初は、普段と雰囲気も違うし、上の子たち（当時小学5年生と2年生の女の子）のいろいろなことが目についてイライラしたりもしました。でも、遊ぶ時間が増えたことを子どもたちはとても喜んでくれました。

また、それまで妻の立場や育児のことについて理解しているつもりでしたが、実際その立場に立つと、こんなにも違うんだなあと感じました。家族に対しても、相手のことを理解できるようになったと思います。

Q 男性の子育て、育児休業取得についてどう感じますか？

男性は自分の仕事を客観的に見る機会がなかなかないですが、そういう意味でも育児休業取得をぜひ勧めたいです。また、育休を取得したことで、職場でのコミュニケーションスキルも上がったように思います。

男性が育休を取得することで、企業もメリットがあると思えたら、民間企業でももっと取得しやすくなるのかもしれないですね。

■ インタビューを終えて

お話の最後に、奥さんの朋美さんが「実際、育休を取得した後、職場からの主人の評価が上がりました。相手の立場に立って物事を見られるようになったからですかね」とおっしゃっていました。朋美さんは仕事

Akemi.N



出来ることから一歩ずつ

男性の育児休業取得者が多くなるためには、育児休業取得を申し出やすい環境を整えることも必要です。厚生労働省では、平成22年度より男

で県内・外への出張などもあり、昌太くんを妊娠した時、仕事を継続できるかどうかの不安もあったため、昌史さんが育児取得を提案してくれたことが嬉しかったそうです。
男性の家事・育児への参加は、女性の就業継続や第2子以降の出産への大きな助けとなります。夫婦お互いが相手の気持ちを尊重し協力しあうことで、仕事と家庭のバランスをうまく保つことにつなげていけたらいいですね。

性の育児と仕事の両立を推進する「イクメンプロジェクト」を実施しており、中でも働き方の見直しなどにより業務改善を図っている企業を表彰する「イクメン企業アワード」(平成25年度より)、部下の仕事と育児の両立を推進し、自らも仕事と生活を充実させている管理職を表彰する「イクボスアワード」(平成26年度より)などで、男性の育児への参加を推奨しています。
男性の育児休業取得率を高くすることは、男性がどれだけ育児に参加するようになったかを数字で図るためではなく、男女が共に育児に関わり、夫婦が成長していくためにも必要なことです。
共働き世帯は年々増加傾向にあり、一方で主婦の毎日の家事・育児も積

ホットな一句



み重なれば大きな負担となります。夫婦お互いができることを補い合い、子育てがしやすい環境を整えば、女性の社会への参画も進み、あらゆる分野で活躍できる幅も広がります。
子育ては「期間限定」です。忙しくしている今だからこそ、子どもとの大切な時間を作れるチャンスです。「男は外で働き、女は家庭を守る」という固定観念にとらわれずに、男性も女性も安心して仕事・育児をできる環境を作ってみませんか？

◆◆編集後記

男女共同には「思いやり」の気持ちが大切だと感じました。男性の育児休業制度の更なる浸透を期待します！(U)

イクメンやカジダン、イクボスという言葉を聞きますが、未だ遠い現状ですね。夫婦双方が助け合いをしなくては...と思っています。(K)

11月12日〜25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。広報とわだ8月号に掲載された暴力根絶の記事で、1人でも多くの市民を救えますように...(S)

子どもとじっくり関わられるのは10歳ぐらいまで。本当に子どもと過ごせる時間は短いものです。(S)

子どもはいつの間にかいろいろなことができるようになっていて、少しずつ子どもに頼ってしまう母です。(N)

「男性の育児休業」はまだまだ耳慣れない言葉だけれど、子どもを育てる楽しい時間は今だけ。家族みんなで育てることが大切!!(F)

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員 漆館優美

花、木村奈生美、笹森栄子、新藤

幸子、中野渡明美、深谷淳子

発行 総務課広報男女参画係

☎6702

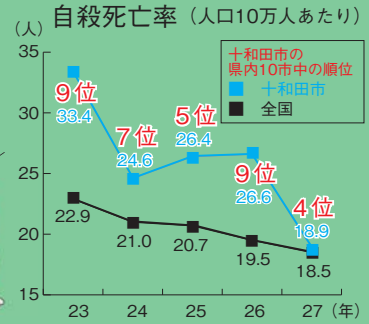
平成29年度子ども議員提案企画

第3回「データから見る！わがまち十和田市」

今月のデータは、**自殺死亡率**（人口10万人あたり）です。

自殺死亡率が **4位**（平成27年）
県内10市中 **少ない** 方から

当市の自殺死亡率は、平成23年から下降傾向にあります。家族や仲間の変化に気づいて声をかけ、話に耳を傾けたり、支援先につなげたり、温かく見守ることで、救える命があります。



まちなews

市内のイベントを随時発信！

[十和田市ブログ駒の里](#)

検索

10/8

秋空の下を駆け抜ける

とわだ駒街道マラソン大会

第22回とわだ駒街道マラソン大会が市陸上競技場を中心に行われ、全国から集まった約1,700人の市民ランナーが、「日本の道百選・官庁街通り」などをメインコースに力走しました。2km小学生（4～6年生）女子の部で優勝した松田涼那（すずな）さん（野辺地町・若葉小6年）は、「去年は4位で悔しい思いをしましたが、今年は優勝できて嬉しかったです」と笑顔で満足そうに話しました。



合図とともに勢いよくスタート

10/2

東小6学年児童が市長に活動報告

修学旅行で本市の観光をPR

市立東小学校（小原広基校長）の6学年児童らが市役所を訪問し、9月の修学旅行で訪れた函館市で、6学年児童54人が本市の観光をPRしたことを報告しました。小山田市長のPRしている場面をもう一度再現してほしいという要望に対し、児童は元気に再現して見せ、「買い物客や観光客はうれしそうだったし、今度十和田に行ってみいたいなどの感想が聞けた」と満足気に話しました。



十和田市の良さを十分にPRしてきました

9/25

防災ヘリコプター「しらかみ」と合同訓練

林野火災に備える合同訓練を実施

高森山総合運動公園（深持字梅家ノ下）を会場に青森県防災航空隊との連携による林野火災対応訓練が開催されました。十和田地域広域事務組合消防本部（39人）、十和田市消防団（第3分団20人）、および青森県防災航空隊（9人）が合同で訓練を実施することで、相互の関係強化を図るとともに、的確な指揮命令系統ならびに消防活動体制の構築を確立し、参加隊員の技術と知識の向上を図ることができました。



防災ヘリコプター「しらかみ」に給水装置を装着するため、ヘリの着陸を待つ青森県防災航空隊員

市役所代表

☎ 23 5111

FAX 22 5100

土・日曜日および祝日は閉庁

❖お知らせの表記

問…問い合わせ先

目…申し込み先

※費用の記載がないものは無料です。



土木課からのお知らせ

■協働の力で快適な冬道を！

市では、市民・除雪業者との協働による除雪を推進しています。

市民の皆さんには、守らなければならぬこと、協力できることをお願いいたします。共に力を合わせて、快適な冬道を目指しましょう！

市民の皆さんへお願い

▼道路への雪出しはやめましょう。

▼路上駐車はやめましょう。

▼屋根の雪が道路に落ちないように、対策を行いましょ。

▼除雪後の間口寄せ雪の片付けは各家庭で行いましょう。

▼除雪作業中の車輛には絶対近寄らないようにしましよ。



■まごころ除雪事業

市では、除雪が困難な世帯に対し、除雪を支援します。

対象 高齢者、身体障害者および児童のみで構成され、自らの家の敷地を自らが除雪することが困難な非課税世帯

実施内容 間口から玄関先までの簡易な除雪

申し込み方法 申し込み先に備え付けの利用申請書に記入の上、提出してください。昨年度対象となつ

た人へは利用申請書を郵送します。

申し込み先 土木課、高齢介護課、

十和田湖支所、(社)十和田市社会福祉協議会

問 土木課維持係 ☎ 51 6730

宝くじ助成金で多文化共生事業に取り組みました

NPO法人プロ・ワークス十和田が、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を活用し、ベトナム国幼児教育リーダー4人を招き、市内保育園の視察や地域住民との情報交換などを通じて、互いの文化を共有することで、国際意識の高揚を図る事業を実施しました。

問 まちづくり支援課

☎ 6725



秋期側溝清掃 土砂・汚泥回収 問 まちづくり支援課 ☎ 6726

対象地区	回収日程
一本木沢、一本木沢一・二丁目、ひがしの一・二丁目、元町西一～六丁目、元町東一～五丁目、上平、下平（稲生団地除く）、北平、千歳森、七郷、南平、長根尻、後野、井戸頭、北斗、藤高	11月6日(月) ～ 8日(水)
稲生町、東一～三番町、東十一～十三番町、東二十一～二十四番町、西一～三番町、西十一～十三番町、西二十一～二十三番町、里ノ沢、牛泊、しらかば団地、八郷、本金崎、西金崎、稲生団地	11月13日(月) ～ 16日(木)
穂並町、東四～六番町、東十四～十六番町、西四～六番町、西十四～十六番町、並木西、西小稲、日の出町、朝日ヶ丘、一本木、白上中通り、小林	11月20日(月) ～ 22日(水)

※側溝から回収された土砂は、災害用土のうなどに再利用します。空きカン、空きビン、紙、プラスチック類のごみは可能な限り除去し、落葉と土砂はより分けてください。

※収集車は各通りを一度だけ回収します。泥上げは回収日初日の前日までに終わらせてください。

※土砂・汚泥は、ある程度の大きさ（高さ30cmの円すい型）にまとめて置いてください。また、交差点付近には置かないでください。

※土砂・汚泥は草の上に置かず、アスファルトなどの平坦な道路脇の、見えやすく分かりやすい場所に置いてください。また、段ボールや肥料袋に入れないでください。

※国道・県道の清掃を実施する町内会は、国・県に回収を依頼しますので、まちづくり支援課へ事前に連絡してください。

※毎年、回収日の間違いが見られますので、再度日程をご確認ください。

11月は労働保険適用促進強化期間です

労働者を一人でも雇っている事業所は労働保険に加入する義務があります（農林水産業の一部を除く）。労働保険の成立手続きがお済みでない事業主は、速やかに加入手続きをするようお願いいたします。

※労働保険とは労災保険と雇用保険を総称した名称です。

問 三沢公共職業安定所十和田出張所 ☎ 5361

消費税軽減税率制度・年末調整関係事務説明会

とき 11月17日(金)

▼午前10時30分～（1時間程度）

消費税込軽減税率制度

▼午後2時～（1時間30分程度）

年末調整関係事務

ところ 市民文化センター

※申し込みは不要です。

問 十和田税務署 ☎ 3151

■差し押さえした不動産をインターネット公売します

問 収納課 ☎⑤ 6784

入札番号	不動産の所在	登記地目	面積
1	西一番町59番1	宅地	1,214.74㎡
	〃 59番地1	車庫	延1,322.30㎡
2	大字奥瀬字十和田湖畔休屋296番3	宅地	2,576.46㎡
	〃 296番地3	店舗	延1,009.82㎡

※公売物件の見積価額、公売保証金などは、市役所・十和田湖支所に
掲示の公売公告または市ホームページでご確認ください。
※物件の詳細内容、図面、写真などは収納課で閲覧できます。

▶ 公売参加申込期間

11月8日(水) 午後1時～
11月21日(火) 午後11時

▶ 入札期間

11月28日(火) 午後1時～
12月5日(火) 午後1時

▶ 掲載場所

ヤフー官公庁オークションホーム
ページ上
<https://koubai.auctions.yahoo.co.jp/>

11月12日～25日は 「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

問 青森県青少年・男女共同参画課
☎ 017-734-9228

レイプや強制わいせつなど、性犯罪・性暴力の被害にあった人やその家族などからの相談を受け、要望に応じた必要な支援をコーディネートします。

あおり性暴力被害者支援センター

「りんごの花ホットライン」 ☎ 017-777-8349

専門の研修を受けた相談員が対応します。

相談受付時間 午前10時～午後9時(月・水曜日)
午前10時～午後5時(火・木・金曜日)

※土日・祝日・年末年始は除きます。

11月は児童虐待防止月間です

問 こども子育て支援課 ☎⑤ 6716

子ども虐待防止のシンボルマークとして、オレンジリボンを広めることで、子どもの虐待をなくすことを呼びかける「オレンジリボン運動」を推進しています。

虐待のない子育てに優しい社会を目指し、市民1人1人に何ができるか、この機会に考えてみましょう。



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

平成30年度 幼稚園児(満3歳以上)を 募集します



幼稚園は初めて出会う学校です

十和田市私立幼稚園協会の各幼稚園で入学願書や案内の配布を行っています。入園願書の受け付けは11月1日(水)からです。

詳しくは各幼稚園へお問い合わせください。

問い合わせ先
(十和田市私立幼稚園協会)

- ▶ 学校法人東北カトリック学園
十和田カトリック幼稚園 ☎②2518
- ▶ 学校法人吉田学園認定こども園
十和田みなみ幼稚園 ☎②3797
- ▶ 学校法人さつき学園認定こども園
さつき幼稚園 ☎②1636
- ▶ 学校法人青森山田学園
青森大学附属北園幼稚園 ☎②1871

移動をエコに！「あおりスマートムーブキャンペーン」
県では、自動車からのCO₂排出量削減に向け、ノーマイカーとエコドライブによる「スマートムーブ(エコで賢い移動)キャンペーン」を実施しています。近い場所へは徒歩や自転車、車に乗るならエコドライブ。環境にもカラグにもいい、快適・便利なスマートムーブに取り組んでみませんか。
問 まちづくり支援課 ☎⑤ 6726

11月30日は「年金の日」です

「ねんきんネット」で自分の未来設計を始めませんか。
「ねんきんネット」では、これまでの年金記録や、これからの年金見

込額をパソコンやスマートフォンで確認することができます。利用には登録が必要です。詳細は日本年金機構のホームページをご覧ください。
問 ねんきんネット専用ナビダイヤル ☎ 0570-058555

表示登記無料相談会開催

不動産の表示に関する登記や土地の境界問題に関する相談会を実施します。

とき 11月3日(金) 午前10時～午後3時30分

ところ アピオあおり(青森市)

※同日、午後1時～方言川柳家の渋谷伯龍先生による講演会もあります。

問 青森県土地家屋調査士会

☎ 017-722-3178

青森県最低賃金改正のお知らせ

青森県最低賃金は、県内で働く全ての労働者と、労働者を1人でも雇っている使用者に適用されます。
時間額 738円 (10月6日から)
 ※製造業と小売業の一部には、特定(産業別)最低賃金が定められています。
 ※詳しくは青森労働局ホームページをご覧ください。
 問 青森労働局労働基準部賃金室
 ☎ 017-734-4114

お子さんの教育資金を「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)がサポートします

高校、大学などへ入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。子ども1人につき350万円以内を、固定金利(年1.81%(平成29年9月13日現在))で利用できる、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。
 ※詳しくは、「国の教育ローン」で検索していただくかコールセンターへお問い合わせください。

問 日本政策金融公庫教育ローンコールセンター
 ☎ 0570-008656 (ナビダイヤル)
 ☎ 03-5321-8656

借金に関する相談窓口

相談員が借金の状況などを聞き、必要に応じて、弁護士等の無料法律

相談や専門機関に引き継ぎを行います。相談は秘密厳守・無料です。
受付時間 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) ▼午前8時30分～正午 ▼午後1時～4時30分

問 青森財務事務所(青森合同庁舎3階)
 ☎ 017-774-6488

司法書士と社会福祉士に聞いてみよう! 無料合同相談会

成年後見に関する無料相談会を開催します。

とき 11月23日(木) 午前10時～午後4時

ところ ユートリー(八戸市一番町一丁目9-22)

問 青森県司法書士会
 ☎ 017-776-8398



十和田市子ども・子育て支援会議市民委員募集

市では、子育て支援に関する事業などに市民の皆さんの意見を反映させるため、委員の一部を募集します。対象 市内に在住・通勤している人で、子育て支援に関心がある人
募集人員 3人
任期 委嘱の日から2年
報酬 日額6千円(所得税控除前)
申込期限 11月24日(金)必着

申し込み方法 公募委員申込書に必要事項を記入の上、持参、郵送で申し込みください。

※申込書は、こども子育て支援課に備え付けてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。
申問 こども子育て支援課 ☎ 6717



冬場の運動不足解消 ノルディックウォーク参加者募集

とき 12月7日(木) 午前9時15分～11時30分

ところ 市総合体育センター
対象 おおむね65歳以上の人
定員 30人(先着順)
持ち物 飲み物、タオル、筆記用具
申込期限 11月22日(水)

※動きやすい服装で、ウォーキングシューズを着用ください(歩行が困難な人はご遠慮ください)。
 ※平成30年3月までの全14回、毎週木曜日または金曜日に実施します。
 おらんどーむやアネックススポーツランドでの実施もあります。詳しくはお問い合わせください。

問 地域包括支援センター
 ☎ 3671

平成29年度自衛官等募集

問 自衛隊青森地方協力本部三沢募集案内所 ☎ 1346

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	試験場所(予定)
自衛官候補生	18歳以上27歳未満の人	年間を通じて行っています。	12月3日(日)	青森駐屯地(青森市) 八戸駐屯地(八戸市)
陸上自衛隊高等工科学校生徒(推薦)	男子で中卒(見込含)17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動などに顕著な実績を納め、学校長が推薦できる人	11月1日(水)～12月1日(金)	平成30年1月6日(土)～1月8日(月) ※いずれか1日を指定されます	陸上自衛隊高等工科学校(神奈川県横須賀市)
陸上自衛隊高等工科学校生徒(一般)	男子で中卒(見込含)17歳未満の人	11月1日(水)～平成30年1月9日(火)	【1次試験】 平成30年1月20日(土)	青森駐屯地(青森市) 弘前医療福祉大学(弘前市) 小中野公民館(八戸市)など
			【2次試験】 平成30年2月3日(土)	青森駐屯地(青森市) 八戸駐屯地(八戸市)

商工労政課からのお知らせ

■創業セミナー受講生募集

創業に必要とされる基礎的な知識やビジネスプランの作成など、経営ノウハウの習得を目的としたセミナーを開催します。

とき 11月18日・25日・12月2日・

9日・16日(いずれも土曜日)

午後5時～7時30分(12月16日は

午後4時30分～7時30分)

対象 創業・起業をして間もない人、検討している人、興味・関心のある人

講師 (公財) 21あおもり産業総合

支援センター インキユベーション・マネジャー 鎌田 直人氏

定員 10人(先着順)

※随時申し込みを受け付けします。

■電子商取引(Eコマース)参入セミナー参加者募集

販路拡大および競争力強化を図るため、「電子商取引(Eコマース)」の参入に関するセミナーを開催します。

とき 11月16日(木) 午後2時～3時30分

対象 インターネットショップへの出店を検討している人、興味・関心がある人

講師 楽天株式会社 楽天市場事業

担当者

定員 30人(先着順)

申込期限 11月13日(月)

◆いずれも

ところ 市民図書館

申し込み方法 申込書を持参、郵送、FAX、メールのいずれかで申し込みください。

※申込書は、商工労政課に備え付けであるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

【申問】商工労政課 ☎6773

FAX ☎1591

メールアドレス shoko@city.towada.lg.jp

第17回十和田市写真コンテスト作品募集

テーマ 十和田市を感じさせる写真

応募期限 11月30日(木)必着

応募規定 A4から四ツ切サイズ、カラー、モノクロ可。単写真のみ。未発表の作品に限ります。

※応募方法など詳しくは、市観光協会のホームページ「ゆるりら十和田」をご覧ください。実施要領や応募用紙をダウンロードできます。

審査員 和田 光弘氏(十和田市出身・日本写真家協会会員・日本大学芸術学部写真学科講師)

入賞 最優秀賞1人(賞金3万円・副賞)ほか各賞

【申問】(一社)市観光協会 ☎3006



第4回地元産の「たれ」を使った料理コンクールレシピ募集

地元産のにんにくや長芋などの食材と、地元発全国ブランドの「たれ」を使った家庭料理コンクールを12月1日(金)に開催します。

コンクール開催に先駆けて、市民

地消料理レシピを募集します。

申込期限 11月10日(金)

申し込み方法 応募用紙に必要事項を記入の上、FAX、郵送で申し込みください。

※応募用紙は、市消費者の会事務局、農協各支店、一部スーパーなど市内各施設に備え付けてあります。

※コンクール出場者は書類審査の上、決定します。

【申問】市消費者の会(市外郭団体事務室内) ☎6783

FAX ☎5571



講座・教室

東公民館からのお知らせ

■東公民館民間教育事業者による講座体験&見学デー

一日で多くの講座を体験して自分に合った講座を見つけませんか。ご自由に見学いただけます。

とき 11月12日(日) 午前10時～午後

4時

内容 健康体操、太極拳、ズンパダンス、お箏、陶芸、書道、生け花、美術、粘土工芸など

※講座により材料費などが必要な場合があります。

【問】東公民館 ☎9000

講師の会(加藤)

☎090・8580・9169



■東公民館講座「ふるさと再発見」受講生募集

とき 11月17日(金) 午後1時～3時

定員 60人(先着順)

演題 「南八甲田幻の県道」～82年後の今を語る

内容 自動車が行き交うはずだった夢の道路。猿倉温泉と十和田湖を

23・5kmで結ぶ「幻の県道」について紹介します。

講師 十和田山岳振興協議会 理事

横浜 慎一氏

申込期限 11月15日(水)

【申問】東公民館 ☎9000

2017年(平成29年)11月号 広報

南公民館からのお知らせ
■干支の和紙工芸教室

新年の干支である「犬」の和紙人形を作ります。

とき 11月30日(木) 午前9時～正午
 対象 20歳以上の市民

定員 10人(応募者多数時抽選)
 費用 2千円(材料費)

申込期限 11月13日(月)

■男性の料理教室(そばうち)

とき 12月10日(日) 午前9時～正午

対象 市内在住の成人男性
 定員 12人(応募者多数時抽選)

費用 700円(材料費)

持ち物 エプロン、三角巾

申込期間 11月6日(月)～24日(金)

◆いづれも

申問 南公民館

☎ 4416



十和田湖公民館からのお知らせ

■長芋すいとん作り教室

とき 12月1日(金) 午前9時30分～午後0時30分

ところ 沢田悠学館

定員 16人(応募者多数時抽選)

費用 600円(材料費)

持ち物 エプロン、三角巾、布巾

申込期限 11月10日(金)

申問 十和田湖公民館 ☎ 2102

中央病院「市民健やかゼミナール」

とき 11月22日(水) 午後4時～5時

ところ 中央病院1階外来待合室
 11月の演題「ネットで見る最新の放射線治療～ネット世界の健康情報はどうなっているの?～」

講師 放射線科 副技師長 小川 佐智男

※事前申し込みは不要です。

申問 中央病院業務課 ☎ 5121

☎ 5121

いきいき健康づくり軽スポーツ教室

「ストレッチ体操と室内ペタンク教室(第2期)」

とき 12月1日・8日・15日(いづれも金曜日) 午前10時～正午

ところ 市総合体育センター

※室内用運動靴持参、傷害保険は各自で加入してください。

※申し込みは不要です。

申問 スポーツ・生涯学習課

☎ 2317

☎ 2317

パソコン講習会「ワード中級編」開催

パソコンの使い方を理解するとともに、ワードを使ってイラストの挿入など応用的内容を習得しながら、年賀状の作成について学びます。

とき 11月25日(土) 午前9時50分～午後3時

ところ 公立小川原湖青年の家

対象 ▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

▼簡単なパソコン操作、文字入力可能な人 ▼ワード2013

が入っているノートパソコンを持参できる人(先着で貸し出し用パソコン2台あり)

定員 10人(先着順)

持ち物 ノートパソコン、筆記用具、昼食



申込期限 11月21日(火)

申問 公立上北視聴覚ライブラリー

(公立小川原湖青年の家内)

☎ 2393 FAX ☎ 5042

メールアドレス k-libra@juno.ocn.ne.jp

ocn.ne.jp



手作りカード教室

申問 市民図書館 ☎ 237808

手作りの「クリスマスカード」作成をします。

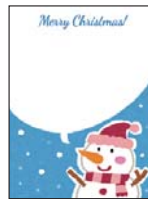
とき 11月26日(日) 午前10時～11時30分

ところ 市民図書館

対象 小学3年生～一般

定員 15人(先着順)

申込期限 11月15日(水)



【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女企画係 ☎ 6702



教育講演会

とき 11月11日(土) 午前9時15分～11時55分

ところ 三本木小学校

講演 「発達障害者の就労について」

講師 発達障害サポートセンター

you me センター長 前田 淳裕氏

申込期限 11月8日(水)

申開 三本木小特別支援教育センター

☎・FAX 239553

十和田湖公民館まつり

とき 11月19日(日) 午前9時30分～午後4時

▼展示部門 書道、裂織、手芸、陶芸、児童生徒作品など

▼舞台部門 和太鼓、鶏舞、舞踊、コーラス、フラダンスなど(法興小学校体育館で実施)

▼販売部門 ドーナツ、コーヒー、くし餅など

(公民館と法興小学校で実施)

☎十和田湖公民館 2102



十和田市子ども劇団

第24回定期公演

演目 「たるべの森のニポポ」

とき 11月12日(日) 午後2時開演

(午後1時30分開場)

ところ 市民文化センター

☎スポーツ・生涯学習課 2313

なかよし発表会

市内特別支援学級の児童生徒が、趣味や特技を生かし、劇や遊戯などのステージ発表を行います。

とき 11月29日(水) 午前9時25分～午後2時30分

ところ 市民文化センター

☎指導課 2309

道の駅とわだ収穫祭

無料のくじ付きスープの振る舞いやスイーツフェアなどを開催します。

とき 11月12日(日) 午前10時～午後4時

ところ 道の駅とわだ

☎道の駅とわだ 23790

平成29年度畜産講習会

とき 11月29日(水) 午後1時30分～

ところ サン・ロイヤルとわだ

演題 「繁殖成績の向上について」

宮城全共を振り返って

講師 (地独) 青森県産業技術センター

タ1 畜産研究所 和牛改良部

研究管理員 阿保 洋一さん

※事前に申し込みが必要です。

☎申開 上十三地区畜衛生推進協議会

252362

第30回十和田市民合唱祭



☎スポーツ・生涯学習課 2313

とき 11月26日(日) 午後1時30分開演
(午後1時開場)

ところ 市民文化センター

参加団体(出演順) ▶南小学校合唱部 ▶三本木小学校音楽部 ▶みなみ大学 ▶コーラス四季 ▶十和田湖コーラス愛好会 ▶滝の詩王者合唱団 ▶コールアゼリア ▶とわだ混声合唱団

小川原湖水環境フェア

小川原湖の水環境を保全するため、流域にお住まいの人が実践できる取り組みについて理解を深めることを目的として、フェアを開催します。

とき 11月18日(土) 午後1時～3時

30分

ところ 東北町民文化センター

内容 ▼小川原湖水環境改善行動指

針について ▼講演 「今日からで

きるおさいふにも優しいエコライ

フ」講師 節約アドバイザー

和田 由貴さん ▼ブラス出展(パ

ネル展示など) ▼Mr. マサツク

の科学マジックショー

※申し込みは不要です。

☎青森県環境保全課 水・大気環境

グループ

017-734-9242

【有料広告欄】 「広報とわだ」 に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女企画係 ☎6702



現代美術館イベント情報

申問現代美術館 ☎ 1127

十和田奥入瀬プロジェクト
ぼくたちわたしたちの小学校美術館「ようこそ美術館へ」

松陽小学校の6年生と写真家の池田晶紀氏が「小学校」や「美術館」を舞台に制作した作品を展示します。期間限定で小学校やまちなかの一角が美術館に変わり、子どもたちによる展覧会の説明（ギャラリートーク）を開催します。

● 14-54（まちなか会場）での展示
とき 11月25日(土)～12月23日(土)
（毎週土・日曜日のみ）
午前10時～午後4時
ところ 14-54（十和田市稲生町 14-54）
協力 地域おこし協力隊

● 松陽小学校での展示
とき 11月20日(月)～22日(水)、24日(金)
午前10時～午後4時
11月25日(土) 午前10時～正午
※詳しい場所は、現代美術館ホームページをご覧ください。

● キッズキュレーターによるギャラリートーク
とき 11月26日(日) 午後1時～3時
ところ 14-54（十和田市稲生町 14-54）
※申し込みは不要です。

11月10日(金)は現代美術館常設展示市民無料デーです
マイナンバーカード、免許証や保険証など住所が分かるものを受け付けに提示してください。

企画展「遠くからでも見える人—^{もりきた しん}森北 伸 展 絵画と彫刻」
関連イベント 「いえをつくる」

森北伸氏によるレクチャーとワークショップを行います。作品に登場するモチーフの「家」がどのような概念で描かれているか説明し、その後参加者それぞれが考えるアート作品としての「家」を、身近な素材を使って表現し発表します。

とき 11月19日(日) 午前10時～午後4時
ところ 14-54（十和田市稲生町 14-54）
対象 高校生以上
定員 10人
持ち物 昼食、汚れてもいい服装
※事前に申し込みが必要です。



最新作の絵画と大型彫刻作品



アーティスト・森北伸さんと作品

【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎ 6702



市民の広場

市民の皆さんが行う催しの紹介、サークルなどの会員募集のコーナーです。**費用の記載がないものは無料**です。掲載希望のかたは市ホームページをご覧ください。

夜のナニヤドヤラ教室無料体験

子どもさんの参加をお待ちしています。花笠音頭、津軽甚句、鹿島おはら節なども教えます。

とき 11月14日(火) 午後6時～9時

ところ 市民交流プラザ「トワーレ」

対象 4歳以上

定員 20人(先着順)

持ち物 タオル、足袋(無ければ不要)、飲み物

費用 200円(駐車料)

申込期限 11月13日(月)

申問 とわだナニヤドヤラお祭り実行委員会・山田 ☎ 090-3750-0251

和みサロン 1日カフェ

とき 11月21日(火)

午前10時～午後3時

▶午前10時～ 手ぬぐいキャップ作り

▶正午～ もちよりランチ(おみそ汁を用意しています)

▶午後1時30分～ ふるさと出前きらめき講座「食と運動を中心に長寿を考える」

講師：市立中央病院院長・丹野弘晃氏
※どの時間帯から参加しても構いません。

ところ 寺向会館

定員 30人(先着順)

費用 100円(みそ汁、飲み物代)

持ち物 手ぬぐい(同じサイズの布でも可)、裁縫道具

申込期限 11月14日(火)

申問 ローズマリークラブ・中西

☎ 090-7931-8754

第1回エコツーリズムフォーラム 講演会

国立公園八甲田山系の登山道整備にむけて、国立公園大雪山系はどのようになっているのか?地域にねざしたエコツーリズムガイドを行っている「山楽舎BARE」代表・佐久間弘氏を招き「大雪山の登山道これまでとこれから」を講演していただきます。

とき 11月19日(日) 午前10時～正午

ところ 南公民館

定員 150人

※事前申し込み不要です。直接会場へ

お越しください。

申問 十和田山岳振興協議会・山崎

☎ 090-3120-7175

芸術を愛する奥入瀬のまち 十和田市オペラ振興会オペレッタ「こうもり」

オペラ歌手と市民公募のこうもり合唱団、指揮者に高橋勇太、オケピットに八甲田吹奏楽団を迎えます。すみ子モダンバレエ、南小学校合唱部と総勢100人出演の歌芝居と喜劇の楽しい舞台です。

とき 11月19日(日) 午後4時開演
(午後3時30分開場)

ところ 市民文化センター

入場料 3,000円

入場券販売期限 11月17日(金)

入場券販売場所 市民文化センター

申問 十和田市オペラ振興会・山内

☎ 090-6251-4130

青森県民文化祭 十和田市民 秋の茶会

青森県民文化祭の関連行事で、表千家と裏千家が掛釜を担当します。

とき 11月12日(日)

午前10時～午後3時

ところ 市民文化センター

費用 1,000円(2席分)

申問 十和田市茶道協会・清川 ☎ 2413

北里大学交響楽団部 第30回記念定期演奏会

テーマは「昔から今まで」を意味する『古往今来』。今までこの楽団を支えてくださった全ての方へ感謝を込め、迫力ある生演奏で名曲たちをお届けします。

とき 12月2日(土)

午後5時30分開演
(午後5時開場)

ところ 市民文化センター

演奏曲 ポロディン交響曲第2番、

PIRATES OF THE CARIBBEAN
ほか

申問 北里大学交響楽団部

メール kitasatowada@gmail.com

【有料広告欄】 「広報とわだ」に広告を掲載しませんか。申込先 総務課広報男女参画係 ☎ 6702

11月の健康カレンダー

●乳幼児健診・母子健康相談

▶問診票・母子健康手帳を持参してください。



内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆4か月児健診 健診日までに満4か月に達する乳児	14日(火) 12:30~13:00 ※バスタオル持参	保健センター 問健康増進課 ☎⑤6792
◆1歳6か月児健診 平成28年5月生まれの幼児	15日(水)※歯ブラシ持参 12:30~13:00	
◆2歳児発達健診 平成27年5月生まれの幼児	16日(木)※歯ブラシ持参 12:30~13:00	
◆3歳児健診 平成26年5月生まれの幼児	28日(火) 12:00~12:45	
◆乳幼児相談 子どもの成長発達の心配や接し方、栄養面など悩みがある0歳から就学前の乳幼児と保護者	12月8日(金)9:30~ ※前日までに要予約	
◆子どものこころの相談 小・中・高校生	12月7日(木)14:00~ ※11月30日(休)まで要予約	市民交流プラザ 「トワレ」 問健康増進課 ☎⑤6792
◆ほっとマミーサロン 妊産婦と生後6か月未満の乳児	6日(月)・20日(月)・ 12月4日(月) 13:30~15:30 ※前日までに要予約	

※2歳児発達健診は2歳6か月児が対象です。問診票は1歳6か月児健診時に、母子健康手帳に挟んで配布しています。

※3歳児健診は3歳6か月児が対象です。問診票一式は事前に郵送しています。

※発熱や感染症治療中のときは、翌日以降に受診してください。

※保健センター駐車場が満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

●各種相談

内容	受付時間	ところ・問い合わせ
◆こころの相談 心の悩み、不眠、もの忘れ、お酒のことなど、気がかりのある人・家族	12月6日(水) 14:00~15:00 ※12月4日(月)まで要予約	保健センター 問健康増進課 ☎⑤6791
◆栄養相談 市内在住の人	29日(水) 9:30~・13:15~ ※27日(月)まで要予約	市役所新館1階 福祉相談室A 問高齢介護課 ☎⑤6720
◆もの忘れ相談 もの忘れや認知症の不安がある65歳以上の人・家族	15日(水) 14:00~15:30 ※10日(金)まで要予約	
◆療育相談 首すわり、おすわり、歩き始めが遅い気がするなど発育や発達について心配のあるお子さんの家族	22日(水)※要予約 ▶継続の人 9:30~10:30 ▶新規の人 10:30~11:00	上十三保健所 問☎③4261
◆B型・C型肝炎検査 一般の人	7日(火)・14日(火)※要予約 13:00~13:30	
◆精神保健福祉相談 心の悩みや病気に関する相談を希望する人	15日(水)※要予約 13:00~14:00	
◆女性健康相談 思春期や不妊、更年期障害などにお悩みの人	16日(木) 10:00~10:30	
◆まちなか健康相談 心や体のことを相談したい人 ※予約不要、お気軽にどうぞ	10日(金)・26日(日) 9:00~12:00 13:00~15:30	
◆エイズに関する相談 一般の人	7日(火)・14日(火)※要予約 13:30~14:30	上十三保健所 エイズ専用 問☎③8450

11月は 食育月間 です



バランスのとれた食事を1日3食規則正しく食べることが生活習慣病予防の第1歩です。

- ◎主食・主菜・副菜を組み合わせよう
- ◎「だし」を活用して減塩しましょう
- ◎野菜は1日350g摂取しましょう

問健康増進課健康づくり推進係☎⑤6791

11月10日~16日は アルコール関連 問題啓発週間



正しい知識を持ってお酒と上手に付き合しましょう。

飲酒からはじまる問題

- ・健康障害（肝炎などの臓器障害）
- ・飲酒運転
- ・多量飲酒
- ・暴力、DV、虐待
- ・アルコール依存症
- ・妊婦、未成年者の飲酒



こんな時は、「こころの相談」「まちなか健康相談」をご利用ください。

問健康増進課健康づくり推進係☎⑤6791

借金とこころの無料相談会

弁護士、保健師などがチームとなって借金の相談だけでなく、心のケアや生活再建に向けたさまざまな相談に応じます。

とき 11月11日(土) 午後1時~3時

ところ 保健センター

主催 青森りんごの会（青森多重債務被害等をなくす会）

問青森りんごの会事務局☎080-6057-3792

●献血のお知らせ 問健康増進課健康管理係☎⑤6790

実施予定日	時間	場所
3日(金)	9:30~12:00	三本木農業高校
	13:30~16:00	DCMホームマック(株)十和田店
10日(金)	10:00~11:30	丸井重機建設(株)
	13:00~17:00	北里大学学生ホール前
24日(金)	10:00~12:00	イオンスーパーセンター十和田店
	14:00~16:00	マルハン十和田店

11月の市民無料相談

内容	日時
◆行政相談 行政機関などの業務に対する苦情、意見、要望などの相談	6日(月)・20日(月) 6日は十和田湖支所同時開催 午後1時～3時
◆人権相談 いじめや差別、家庭内や隣近所とのめごとなどの相談	10日(金)・24日(金) 午後1時～3時
◆法律相談(定員7人) 相続、離婚、借金などの相談	22日(水) 午後1時～4時 ※15日(水)午前8時30分から予約開始
◆司法書士相談(定員4人) 登記、相続、借金などの相談	16日(木) 午後1時～3時 ※9日(木)午前8時30分から予約開始
◆不動産相談(定員4人) 不動産の売買、不動産の賃貸借などの相談	9日(木) 午後1時～3時 ※2日(木)までに要予約
◆くらしとお金の相談 多重債務、生活資金などの相談	8日(水) 午前10時～午後4時 ※前日までに要予約
◆法テラス青森(定員6人) 借金・離婚・労働問題などの相談(法律相談)※資力基準に該当する人	14日(火)・28日(火) 午後1時～4時 ※予約先☎050-3383-5552
◆消費生活相談 悪質商法、架空請求、製品事故などの消費生活の相談	毎週月～金曜日 午前8時30分～午後4時30分 ※相談前に要予約
◆交通事故相談 交通事故による損害賠償、示談などの相談	21日(火) (予約があった場合に開催) ※予約先県庁☎017-734-9235

ところ まちづくり支援課市民相談室
申問まちづくり支援課☎⑤6777

内容	日時
◆市税夜間納付・相談窓口	1日(水)、2日(木) 27日(月)～12月1日(金) 午後5時30分～8時

ところ 収納課
※本館北側職員通用口からお入りください。
(午後6時以降は本館正面玄関からは入れません)
問収納課☎⑤6761

市税などの口座振替をご利用ください

指定する市内の金融機関の口座から振替納付ができます(年金天引きの市県民税を除く)。
▶手続場所 収納課、十和田湖支所、市内金融機関
▶持参する物 納税通知書、通帳・届出印
申問収納課☎⑤6762

内容	日時
◆出張年金相談 年金の無料相談	28日(火)※要予約 午前10時～午後3時 (予約があった場合に開催) ※予約先八戸年金事務所 ☎0178-44-1742

ところ 新館3階会議室
問八戸年金事務所☎0178④1742 市民課☎⑤6753

11月30日(木)が納期限(口座振替日)です
市税等は納期限内に納めましょう
固定資産税第4期/国民健康保険税第5期
介護保険料第5期/後期高齢者医療保険料第5期

その他の催し <>…開始時間

4(土)	▶紙しばい倶楽部とわだ <10:30>～市民図書館 (問市民図書館☎③7808) ▶第48回市民文化祭 <オープニングセレモニー10:00 展示部門10:00(～5日) 舞の躍動10:20 演劇17:00>～市民文化センター(問スポーツ・生涯学習課☎②2318)
5(日)	▶第48回市民文化祭 <吟詠10:00 謡と仕舞13:00 秋のスペシャルコンサート13:00>～市民文化センター(問スポーツ・生涯学習課☎②2318)
6(月)	▶フォトとわだ 風景写真展～市民文化センター(問フォトとわだ・藤井☎③0926)(～30日)
7(火)	▶福田こうへいコンサート～全身全霊～<①13:00・②17:00>～市民文化センター ※チケットは完売しました。 (問トラスト企画クリエート☎011-261-9991)
8(水)	▶おしゃべりサロン「クローバー」<①10:00・②13:30>～保健センター(問傾聴サロンとわだ・黒子☎090-2796-0999) ▶日本認知症グループホーム協会青森県支部第5回大会inむつ・上十三<9:45>～市民文化センター(会員3,000円、一般1,000円)(問(公社)日本認知症グループホーム協会青森県支部☎0172-37-7300)
11(土)	▶話しのサロン・こころの広場ルピナス<10:00>～勤労青少年ホーム(問健康増進課☎⑥6791)(25日も開催) ▶語りの会・こま草「おはなしのゆうびんやさん」<①10:30・②14:00>～市民図書館(問市民図書館☎③7808)(25日も開催)
12(日)	▶第13回十和田市総合体育大会(後期)～市総合体育センターほか(問スポーツ・生涯学習課☎②2317) ▶東日本大震災チャリティ演芸会 多笑の縁<15:00>～文化センター(1,000円)(問馬はなし亭呑助・遠田☎090-9533-3390)
16(木)	▶北島ファミリーコンサート～北山たけし 原田悠里 大江裕<18:00>～市民文化センター(前売券 S指定席 5,500円)(問オカダプランニング☎0225-22-0934) ▶十和田市民大学講座 第7講座・閉講式「入賞者2人が語る、ショパン国際ピアノコンクール」～演奏もご堪能いただけます!<18:30>～市民文化センター(講師:デュオ・グレイス(高橋多佳子&宮谷理香)) (問スポーツ・生涯学習課☎②2318)
18(土)	▶わっこの会「読み聞かせ」<10:30>～市民図書館(問市民図書館☎③7808) ▶青森県立三本木高等学校附属中学校合唱コンクール<11:00>～市民文化センター(問三本木高校附属中学校☎④1184) ▶十和田市小中学校美術展<9:00>～市民文化センター(問指導課☎②2309)(～20日)
26(日)	▶普通救命講習会<9:00>～十和田消防署(対象:中学生以上の市民)(問十和田消防署☎⑤4115)

毎週月・金曜日は、市民課窓口業務の一部を午後6時まで延長しています

休日当番医 問健康増進課☎⑤6790

3日(金)	阿部クリニック	☎⑤1122
5日(日)	清潮会クリニック	☎⑤3300
12日(日)	石川医院	☎③2114
19日(日)	篠田医院	☎③2022
23日(木)	高松病院	☎③6540
26日(日)	泉山内科	☎⑤1881

区分	人・世帯数	前月比	前年比
人口と世帯	人口 62,372人	-2人	-642人
	男 29,866人	-13人	-317人
	女 32,506人	11人	-325人
	世帯 27,483世帯	+2世帯	+74世帯

平成29年9月末現在

アプリで「広報とわだ」を読みませんか



マチイロ 使用方法
QRコードを読み込み、アプリ「マチイロ」をインストールする。



～今日も無事でいてほしい～
みんなでつくる安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

